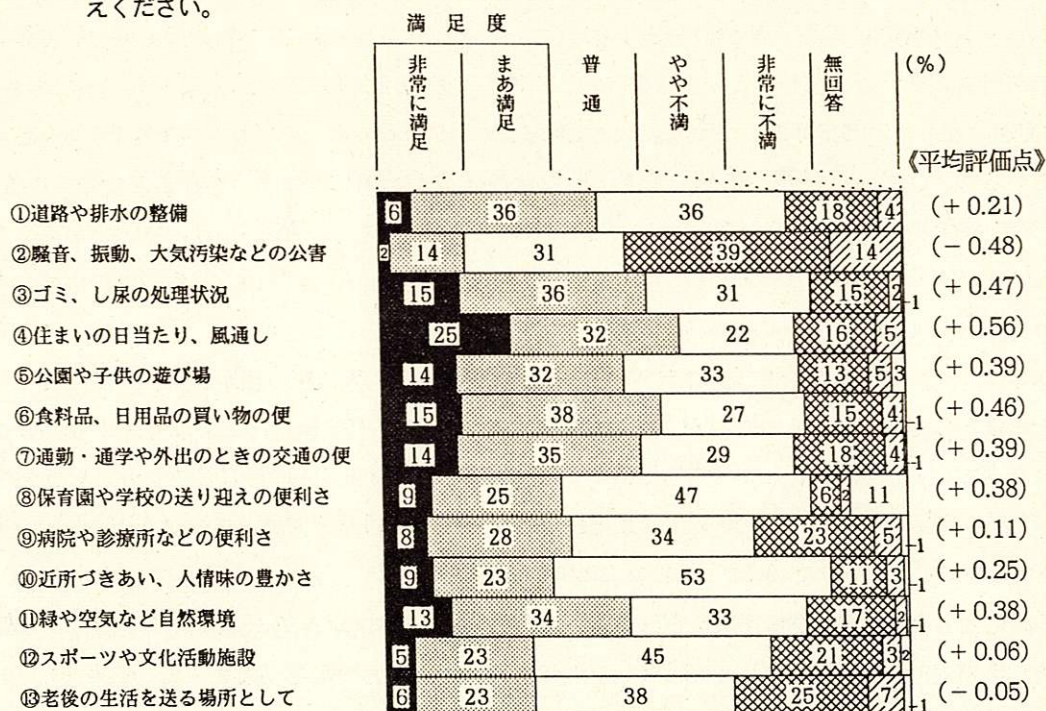


2. 生活環境評価

2-1. 地域の生活環境評価

◎「住まいの日当たり、風通し」、「買い物の便」、「ゴミ、し尿の処理」には高い評価、「公害」への評価は厳しい。

問3 次に生活環境についてお伺いします。あなたは、地域の住みよさについて、ふだんどのように感じていますか。これからお聞きする各項目、それぞれについて満足か、不満足かをお答えください。



地域の生活環境について、「非常に満足」と「まあ満足」を加えた満足度が50%を上回っているのは、「住まいの日当たり、風通し」(57%)、「食料品、日用品の買い物の便」(53%)、「ゴミ、し尿の処理状況」(51%)である。満足度が低い項目は「騒音、振動、大気汚染などの公害」(16%)である。平均評価点(注1)では、「騒音、振動、大気汚染などの公害」(-0.48)、「老後の生活を送る場所として」(-0.05)以外はプラス評価となっている。「住まいの日当たり、風通し」(0.56)は平均評価点が0.5を上回っている。

しかし、昭和63年と比べてみると、満足度では「通勤・通学や外出のときの交通の便」(44%→49%)、平均評価点では「交通の便」(0.34→0.39)、「公園や子供の遊び場」(0.38→0.39)、「老後の生活を送る場所として」(-0.42→-0.05)以外は評価の低下が見られ、生活環境に対する市民の評価は平均として厳しくなっているといえる。

「道路や排水の整備」の満足度はBブロック（50％）では高くなっているが、Fブロックでは29％と平均よりかなり下回っており、平均評価点（－0.07）でも唯一マイナス評価になっている。「公害」問題については全般的に満足度は低い、満足度が相対的に高いといえるのはCブロック（26％）、Bブロック（24％）である。またDブロック（6％）は極端に満足度が低くなっている。「ゴミ、し尿の処理状況」ではAブロックとBブロックで満足度が60％を上回っている。「住まいの日当たり、風通し」については全般的に評価が高いが、とくにCブロック（66％）とEブロック（60％）で目立っている。「公園や子供の遊び場」については多摩川に近いCブロック（満足度80％、平均評価点1.07）でとくに評価が高い。「買い物の便」についての評価が目立っているのはFブロック（66％）、Eブロック（62％）、Gブロック（59％）である。「交通の便」への満足度はDブロックで63％と高く、Eブロック、Fブロックでも50％を越えているが、Cブロックでは25％と低く、平均評価点（－0.30）もマイナス評価となっている。「保育園や学校の送り迎えの便利さ」については、Fブロック（48％、0.67）で評価が高くなっているが、Aブロック（19％、－0.04）では目立って低くなっている。「病院や診療所などの便利さ」については、評価の高いブロック（E、F、Gブロック）と低いブロック（A、B、C、Dブロック）にはっきりと二分されている。「近所づきあい、人情味の豊かさ」への満足度にはそれほどの地域差は見られないが、そのなかでもBブロック（39％）とFブロック（37％）が目立っている。「緑や空気などの自然環境」については、「公園」と同様にCブロックの満足度（71％）が高い。「スポーツや文化活動施設」への満足度が目立っているのは、Aブロック、Bブロック、Cブロックで、Gブロックの満足度（11％）は低い。「老後の生活を送る場所として」の満足度もそれほどの地域差は見られないが、そのなかでもBブロック（35％）、Cブロック（34％）は相対的に満足度が高く、Gブロック（20％）は低いといえる（図2-2-①～③）。

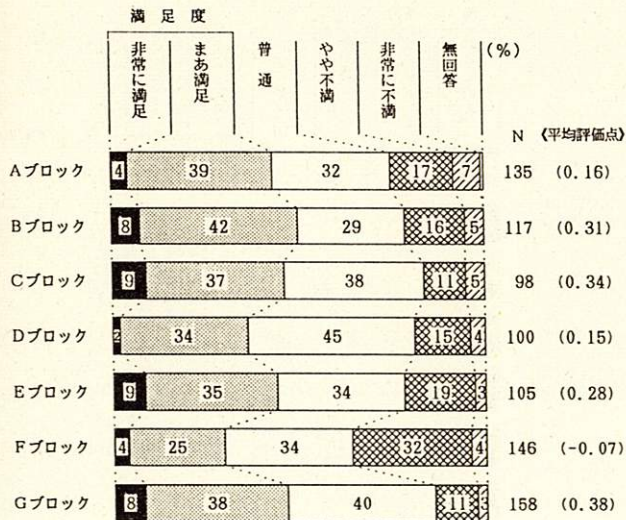
注1. 平均評価点の計算方法は次のとおり。

$$\frac{(\text{「非常に満足」の人数} \times 2) + (\text{「まあ満足」の人数} \times 1) + (\text{「普通」の人数} \times 0) + (\text{「やや不満」の人数} \times -1) + (\text{「不満」の人数} \times -2)}{\text{全回答者数}}$$

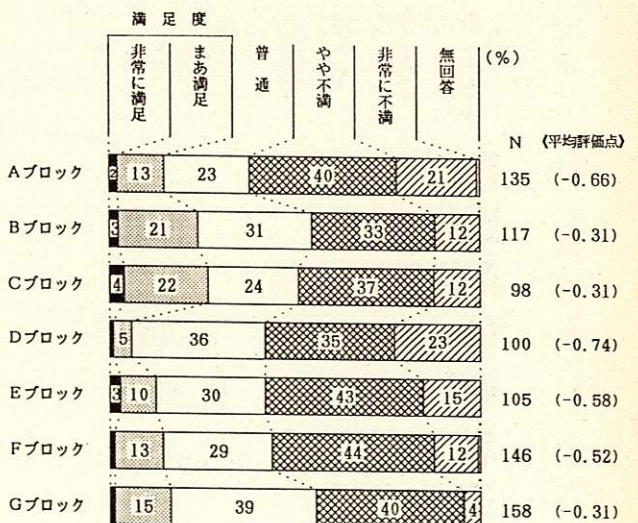
全回答者数

図2-2-① 地区別 地域の生活環境評価

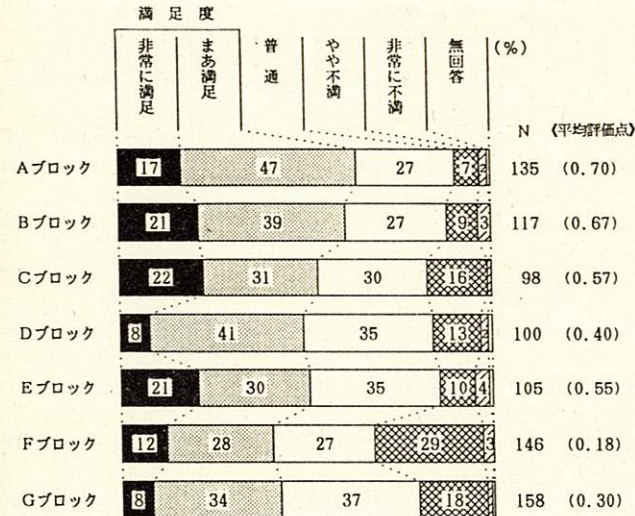
①道路や排水の整備



②騒音、振動、大気汚染などの公害



③ゴミ、し尿の処理状況



④住まいの日当たり、風通し

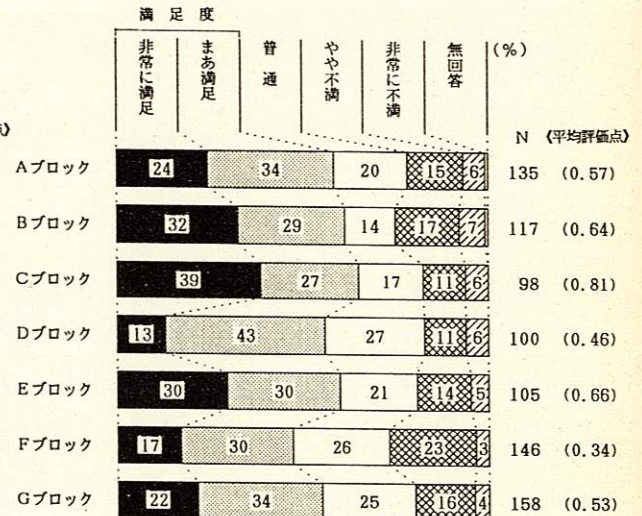
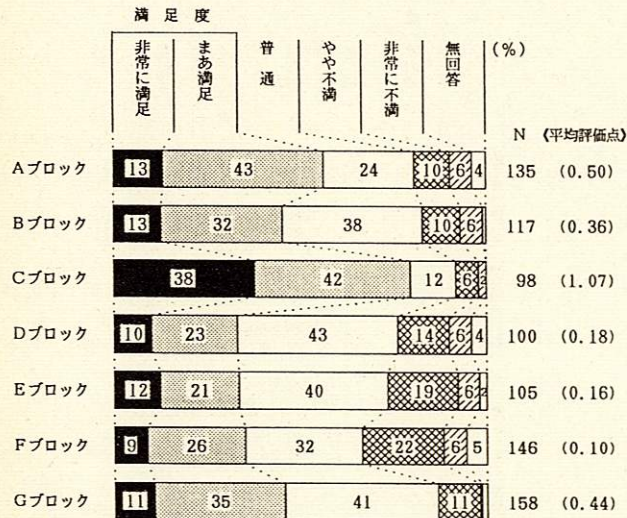
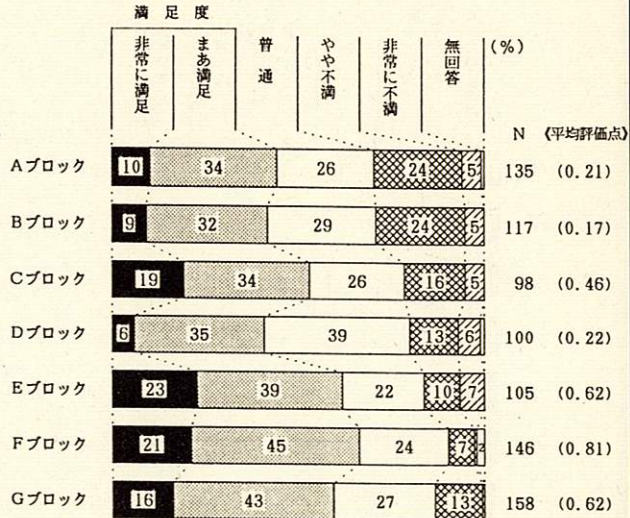


図2-2-② 地区別 地域の生活環境評価

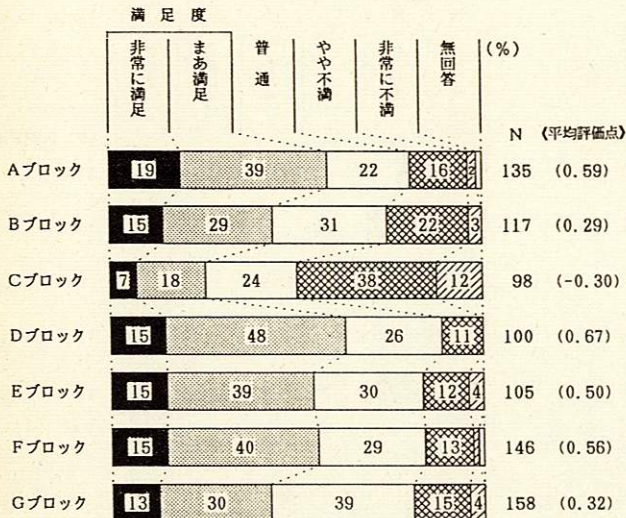
⑤公園や子供の遊び場



⑥食料品、日用品の買い物の便



⑦通勤・通学や外出のときの交通の便



⑧保育園や学校の送り迎えの便利さ

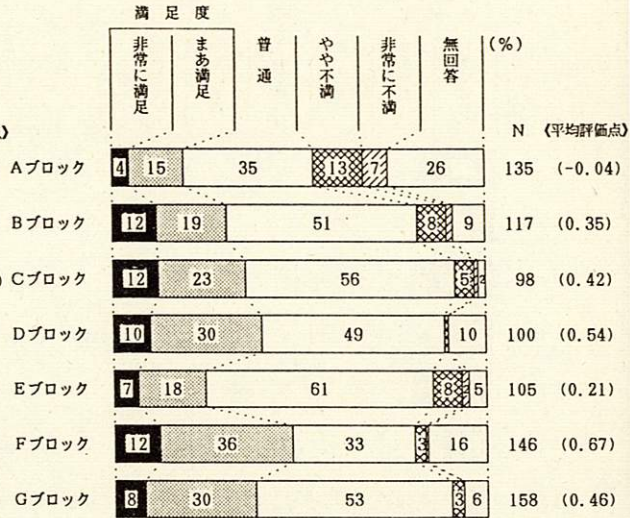
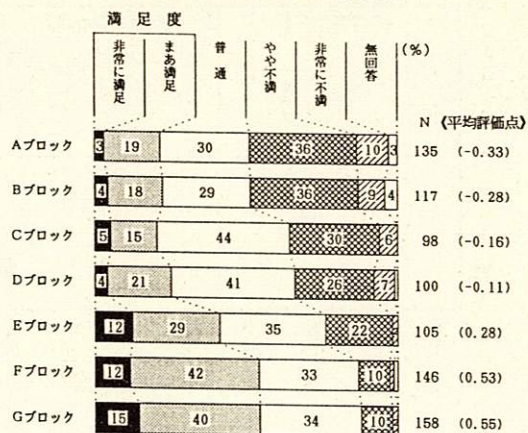
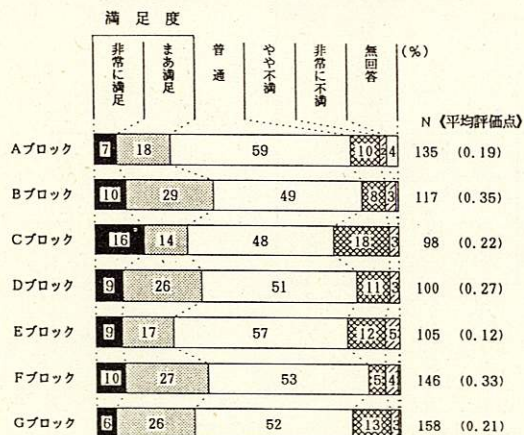


図2-2-③ 地区別 地域の生活環境評価

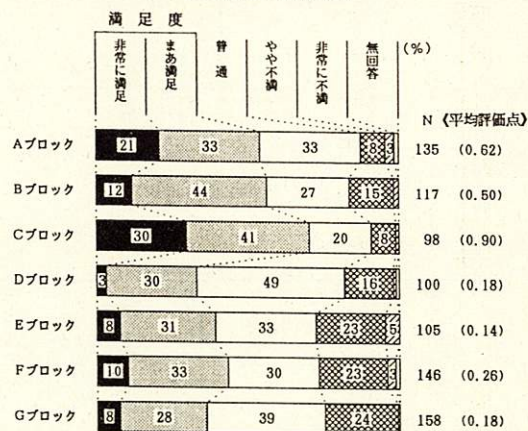
⑨病院や診療所などの便利さ



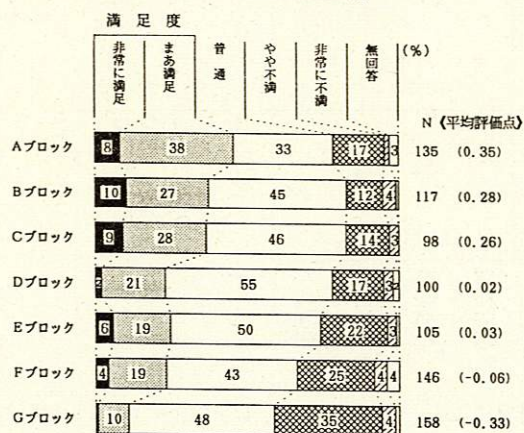
⑩近所づきあい、人情味の豊かさ



⑪緑や空気など自然環境



⑫スポーツや文化活動施設



⑬老後の生活を送る場所として

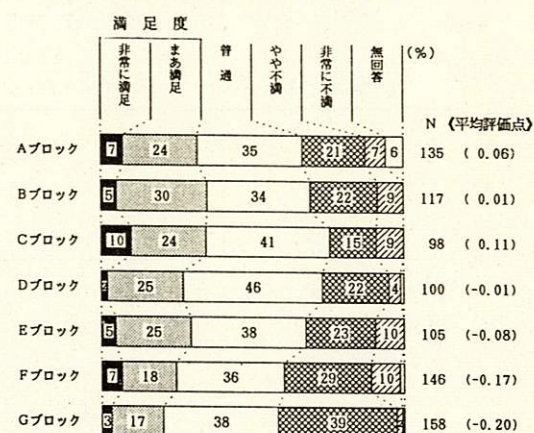
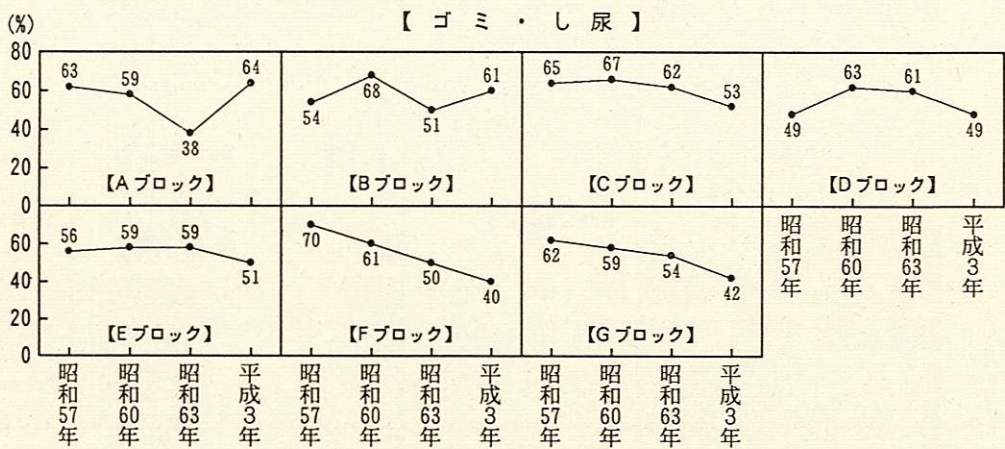
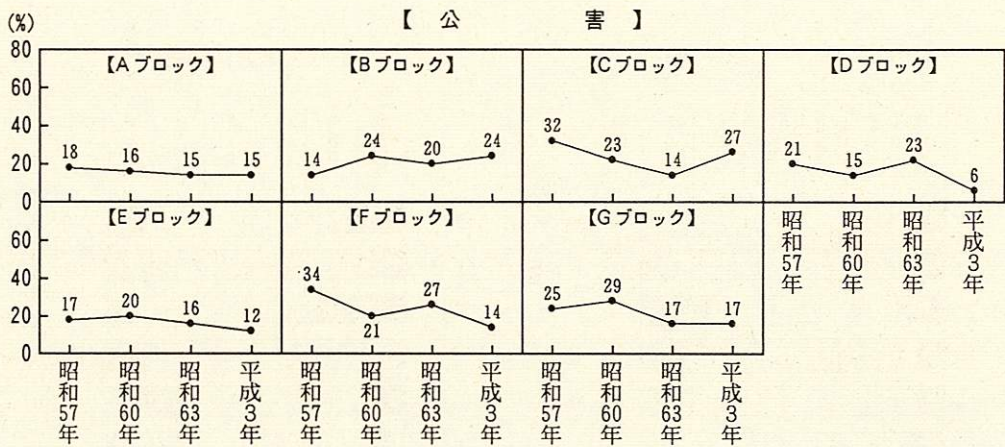
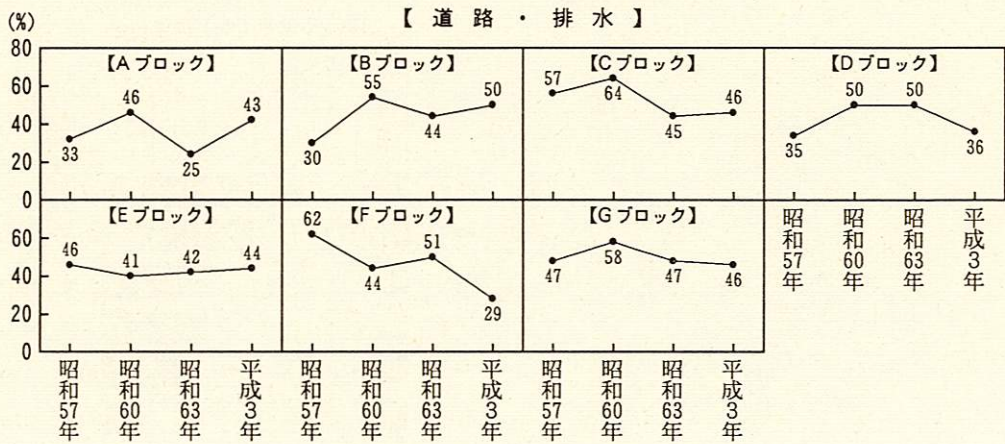


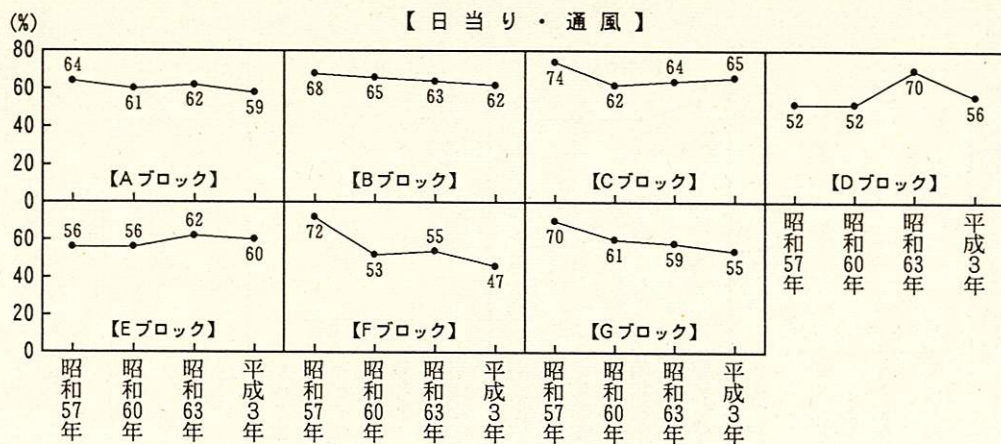
図2-3-① 地区別 生活環境 — 経年



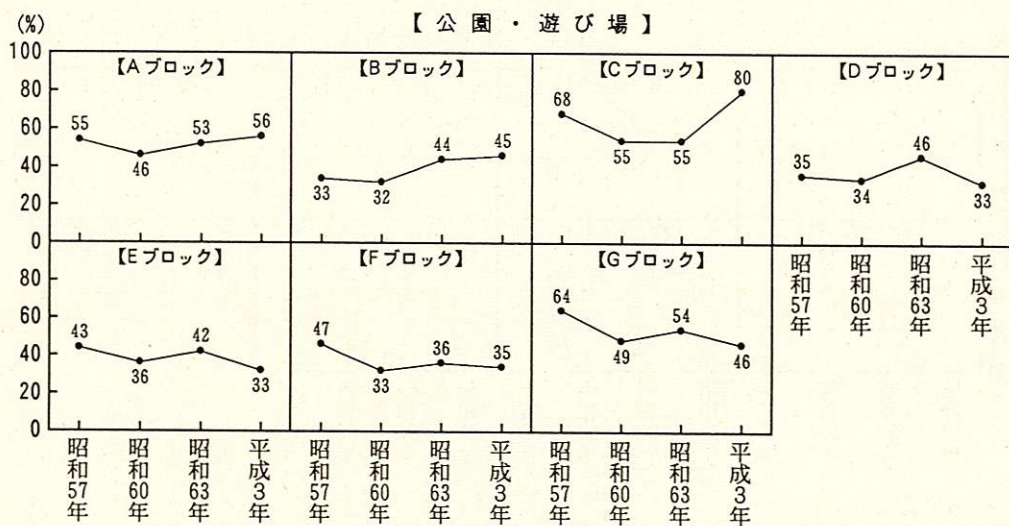
(注) 数字は「非常に満足」+「まあ満足」、以下図2-3-⑤まで同様。

図2-3-② 地区別 生活環境 — 経年

【日 当 り ・ 通 風】



【公 園 ・ 遊 び 場】



【日 用 品 の 買 物】

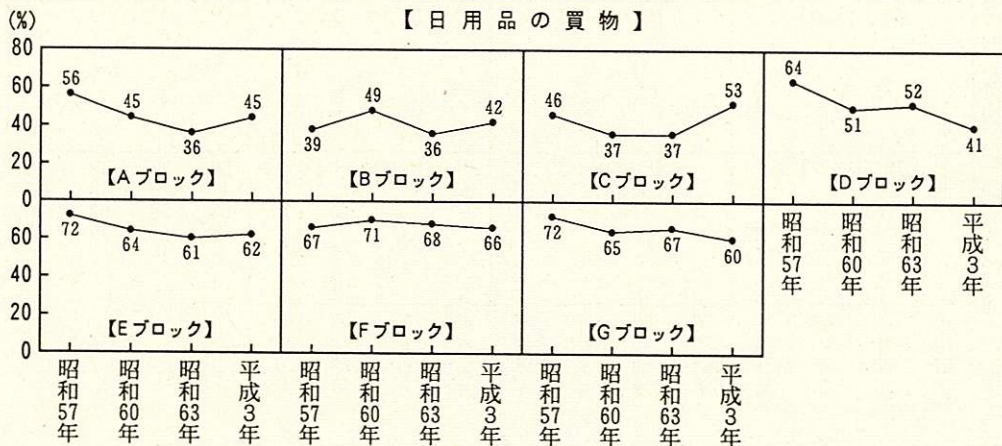
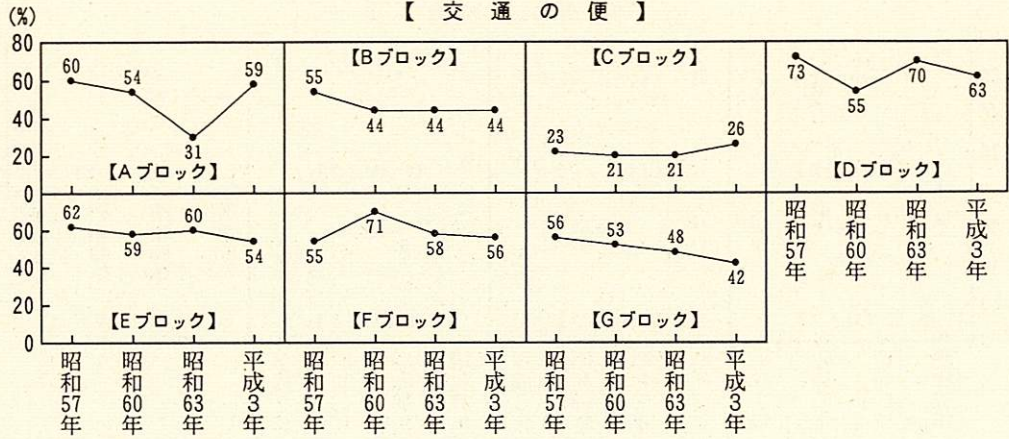
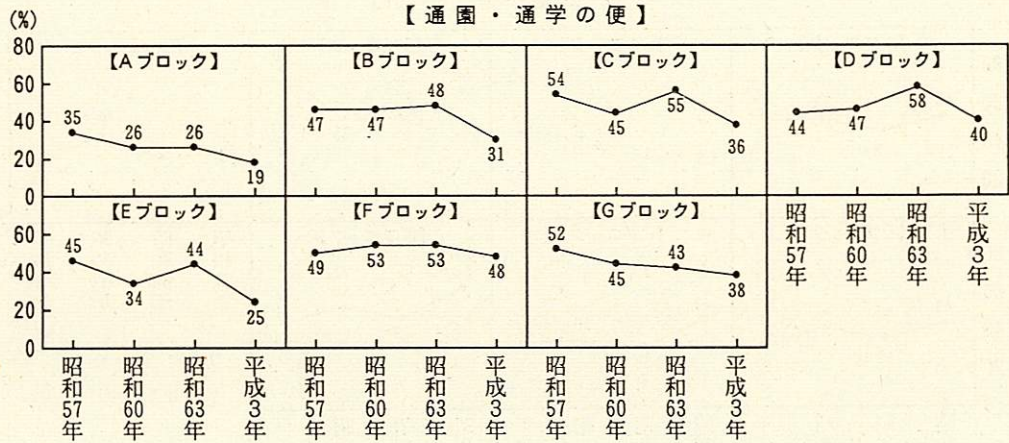


図2-3-③ 地区別 生活環境 — 経年

【 交 通 の 便 】



【 通 園 ・ 通 学 の 便 】



【 病 院 ・ 診 療 所 】

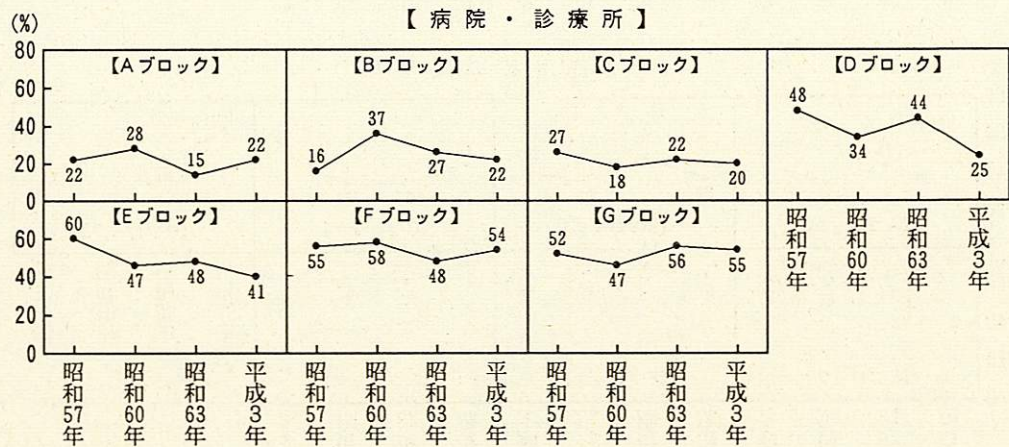


図2-3-④ 地区別 生活環境 — 経年

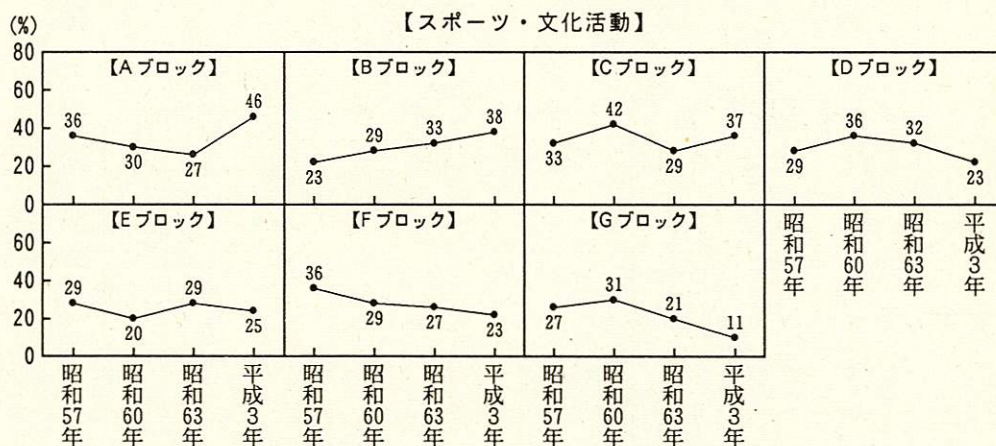
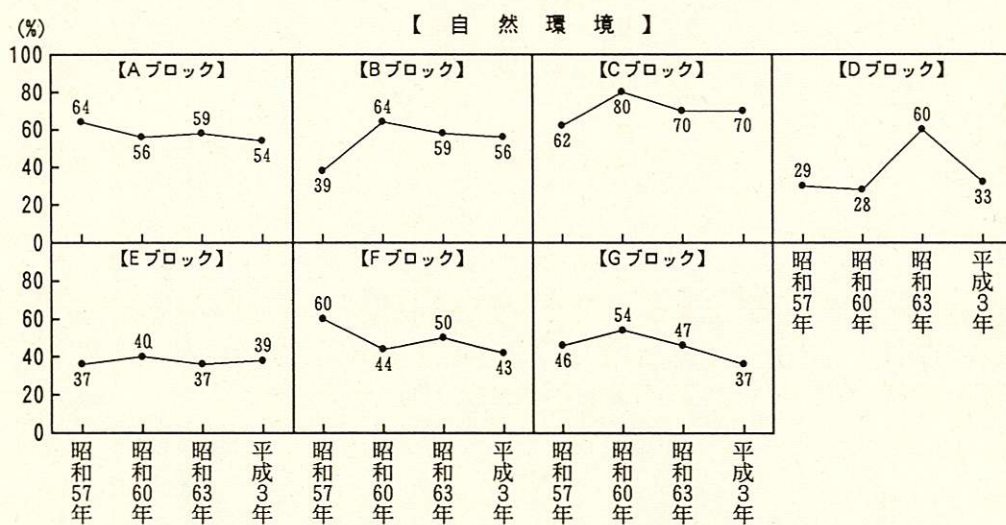
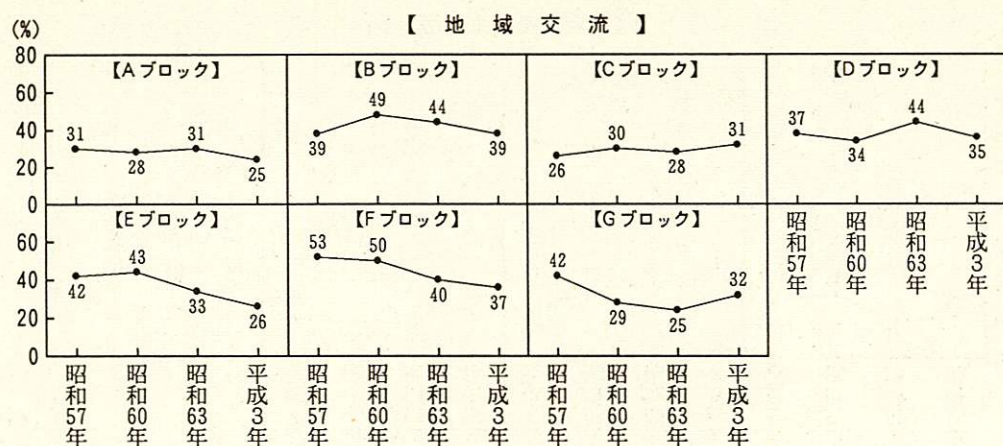
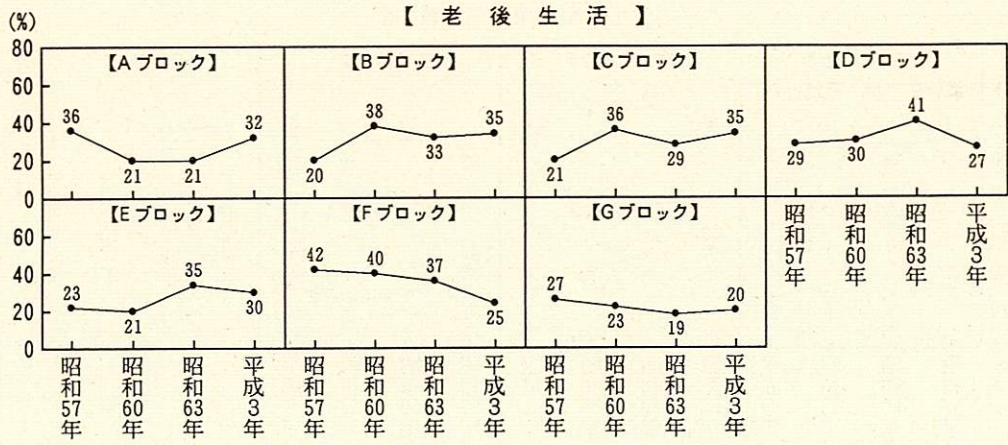


図2-3-⑤ 地区別 生活環境 — 経年

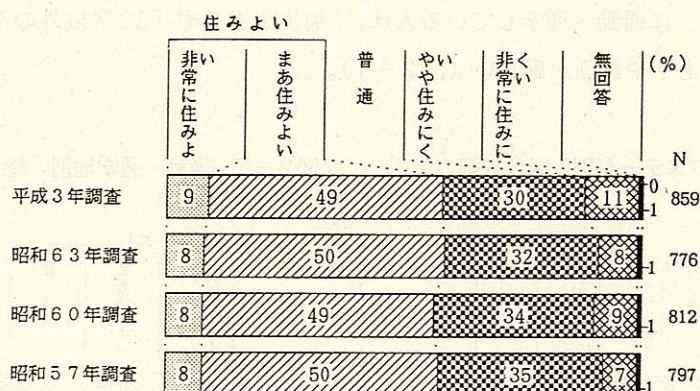


2-2. 総合評価

◎「住みよい」という人が58%

問4 いろいろお伺いしましたが、一口にいて、福生市は住みよい所だと思いますか。それとも住みにくい所だと思いますか。

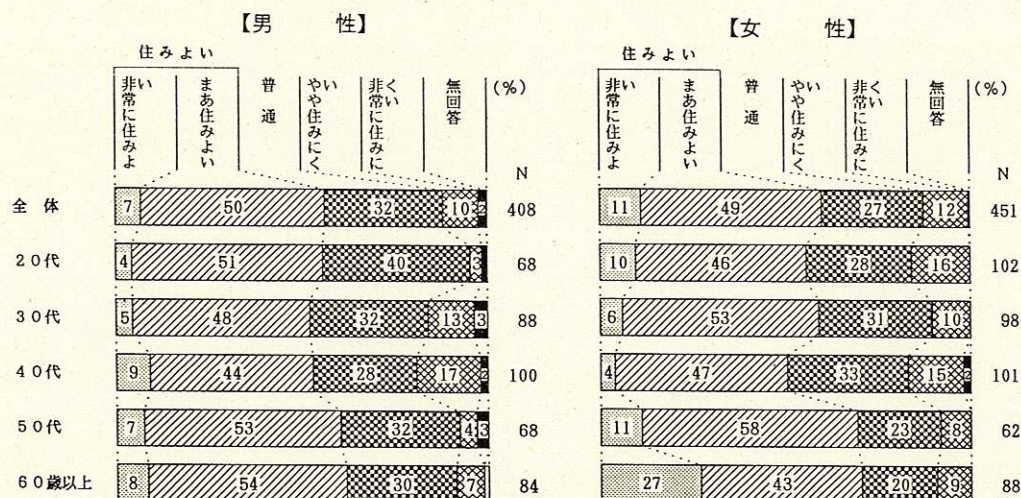
図2-4



福生市を一口にいて、「非常に住みよい」と思う人は9%、「まあ住みよい」と思う人は49%、「普通」と思う人は30%、「やや住みにくい」と思う人は11%である。福生市を「住みよい」場所として評価している人の割合は昭和57年以来ほとんど変化はない。ただ、「やや住みにくい」と評価する人が微増傾向にあることは注目される（図2-4）。

性年齢別にみると、男性では50歳代以上で「住みよい」とする人が増えている。女性では、40歳代（51%）を除いて、「住みよい」と評価する人が多いが、とくに50歳代以上では約7割の人が「住みよい」と答えている。また、女性の60歳代以上は「非常に住みよい」という人が27%と目立っている（図2-5）。

図2-5 性別・性年齢別 総合評価



ライフステージ別では、「独身期」、「家族形成期」での評価は高いものの、ライフステージが成熟するとともに、やや評価は下がり、「家族成長後期」では「住みよい」という回答は合わせて51%にまで下がっている。しかし、その後ライフステージが進むにつれて評価は高くなり、「老齢期」、「老人世帯」では「住みよい」という回答が70%を上回っている。これは、男女ともに40歳代で評価が厳しく、高齢者で評価が高くなっていることと対応している（図2-6）。

また、「都内23区」に通勤・通学している人は、「福生市内」や「23区以外の都内」に通勤通学している人よりもやや評価が厳しい（図2-7）。

図2-6 ライフステージ別 総合評価

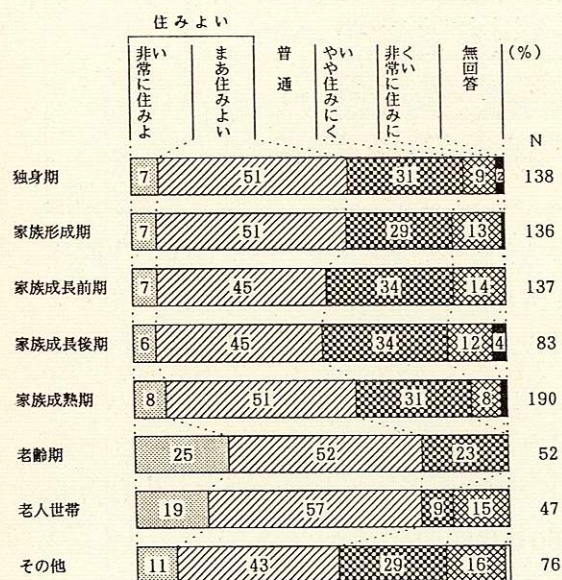
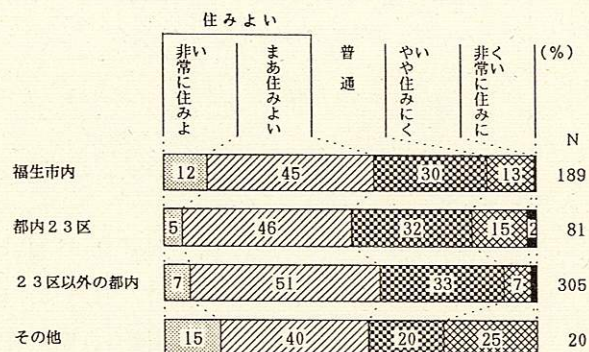


図2-7 通勤・通学地別 総合評価



住居形態別では、「持ち家（一戸建）」の人（64％）、「公団、公社、公営の賃貸住宅」の人（61％）では「住みよい」と答えた人が多いが、「分譲マンション・分譲アパート」の人（41％）、「社宅・寮」の人（35％）では目立って少なくなっている。また、「民間のアパート・マンション」の人では「やや住みにくい」という評価（19％）が目立っている（図2-8）。

地区別では、Cブロック（65％）、Fブロック（63％）で「住みよい」という評価が60％を超えているが、Bブロック（52％）では評価がやや低い。ただし、すべてのブロックで「住みよい」という評価が50％を上回っている（図2-9）。

図2-8 住居形態別 総合評価

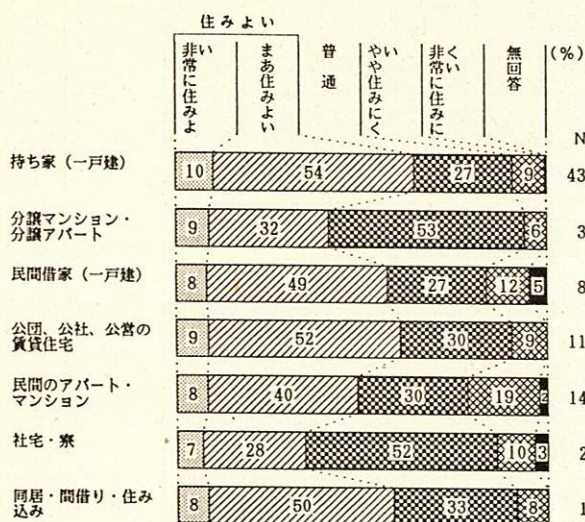


図2-9 地区別 総合評価

